

報道機関各位

## 低炭素化技術の研究拠点形成に資する研究開発プロジェクトを支援！

- 平成25年度 低炭素化技術拠点形成事業
- ・「低炭素化技術探索検証事業」
  - ・「低炭素化技術研究開発事業」
  - ・「ミニ実証事業(継続)」

の採択テーマ決定について

(公財)北九州産業学術推進機構と北九州市では、平成 23 年 1 月に「先導的低炭素化技術研究戦略指針」を策定しました。また、平成 23 年 12 月には「グリーンアジア国際戦略総合特区」および「環境未来都市」に採択され、グリーンイノベーション研究拠点の形成に取り組んでいます。平成 25 年 3 月には「北九州市新成長戦略」を策定、地元企業の高度化・新製品開発支援を推進しています。

この取り組みの一環として、「快適な市民生活」、「新たな産業及び雇用創出」および「低炭素化」を調和させた低炭素社会システムの構築を図ることを目的に、企業等が行なう研究開発、実証研究及び調査に対して支援を行なう、「低炭素化技術拠点形成事業」を実施しています。

今回、平成 25 年 5 月に公募を行い厳正な審査を経た結果、次のとおり交付することにしました。

○平成 25 年度 低炭素化技術拠点形成事業

- ・「低炭素化技術探索検証事業」

応募数 2 件 採択数 2 件 (補助総額 300 万円)

- ・「低炭素化技術研究開発事業」

応募数 10 件 採択数 5 件 (補助総額 3,493 万円)

- ・「ミニ実証事業(継続)」

応募数 2 件 採択数 2 件 (補助総額 807 万円)

【問い合わせ先】

(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター

担当: 田中、佐藤 TEL 093-695-3006

北九州市産業経済局 新産業振興課

担当: 山本、小溝 TEL 093-582-2905

<別紙資料>

別紙1: 採択一覧

別紙2: 事業概要

別紙3: 採択テーマ

## 「低炭素化技術拠点形成事業補助金採択一覧」

## 【低炭素化技術探索検証事業】

番号	テーマ名	申請企業
1	PVリサイクル輸送容器開発	山九株式会社
2	低環境負荷型太陽光モジュール洗浄剤を用いたパネルメンテナンスに関する調査研究	シャボン玉石けん株式会社

## 【低炭素化技術研究開発事業】

番号	テーマ名	申請企業
1	新規 CMP パッド＋スラリーによる高研磨効率の実現と実用化	三島光産株式会社
2	様々な事業場から排出された有機性の産業廃棄物を活用したカーボンニュートラルなバイオガス発電による売電事業化	株式会社サニックス
3	相反転方式水車による小水力発電と電力利用システムの技術研究開発	株式会社協和コンサルタンツ
4	炭素を生体固定し CO2 排出を抑制することを目的とした「昆虫生体機能」と「工業生産技術」を融合した小型プラントによる昆虫タンパク質の効率的な製造システムの開発	株式会社イーズ バイオ技術研究所
5	高輝度・高効率かつ低コストな白色 LED の実現のための樹脂材料ならびにその塗布技術の開発検証実験	三菱化学株式会社

## 【ミニ実証事業(継続)】

番号	テーマ名	申請企業
1	【継続】ヒ素や鉛といった重金属に汚染された水を飲用可能とする新たな水処理技術の活用により、とりわけアジア地域での安定的な水資源の確保を実現するセントラル浄水システムの実証試験	株式会社タカギ
2	【継続】住宅建物への基礎杭を用いた地中熱ヒートポンプシステム導入の実証研究	新日本ホームズ株式会社

## 低炭素社会の構築を目指した実証・研究開発への助成 ～FAIS 低炭素化技術拠点形成事業の概要～

北九州市が推進する低炭素社会の構築を図るため、下記対象分野に該当するテーマのうち、事業化を目指した実証・研究開発プロジェクトに対し、調査・研究開発費を補助します。

### 1 補助金の内容

#### (1)低炭素化技術探索検証事業

##### ◆ 概要

本格的な研究開発に取り組む前段階の技術的内容・市場性・経済性に関する調査・研究開発費を補助します。

##### ◆ 対象者

北九州市内で調査を行うもので、下記に該当するものとします。

- ① 北九州市内に本社もしくは事業所を有する法人格のある企業もしくは組合
- ② 市外企業の場合は、北九州市内で事業を検討している、または事業計画を有するものに限る。

##### ◆ 研究開発期間と規模

研究開発期間：単年度、規模：単年度 150万円以内

#### (2)低炭素化技術研究開発事業

##### ◆ 概要

基礎研究を終了し将来的な実証化・事業化を目指す研究開発や小規模実証研究に関する実証研究費を補助します。

##### ◆ 対象者

北九州市内で研究開発を行うもので、下記に該当するものとします。

- ① 北九州市内に本社もしくは事業所を有する法人格のある企業もしくは組合。
- ② 市外企業・組合の場合は、北九州市内の大学等研究機関もしくは北九州市と連携して研究開発を行い、かつ北九州市内で事業を検討している、または事業計画を有するもの。

##### ◆ 研究開発期間と規模

研究開発期間：2年度以内

規模：単年度 700万円以内 但し、市外企業・組合の場合は対象経費の1/2

#### (3)ミニ実証事業（継続）

##### ◆ 概要

小規模実証により、実効性を検証するプロジェクトに関し実証研究費を補助します。

##### ◆ 対象者

北九州市内で実証事業を行うもので、下記に該当するものとします。

- ① 北九州市内に本社もしくは事業所を有する法人格のある企業もしくは組合。
- ② 市外企業・組合の場合は、北九州市内の大学等研究機関もしくは北九州市と連携して実証事業を行うもの。

##### ◆ 研究開発期間と規模

研究開発期間：2年度以内

規模：単年度 1千万円以内 但し、市外企業・組合の場合は対象経費の1/2

※北九州市内に本社、もしくは事業所を有する企業(各事業共通)とは、北九州市内に当該研究開発を行う  
人員を配する企業をいいます。

また、下記の方は申請者もしくはグループ構成員になれません。(3事業共通)

- ① 財務内容が著しく不健全である者
- ② 市税滞納者
- ③ 暴力団員、もしくは暴力団員と密接な関係を有する者

## 2 対象分野

- (1) 地域資源を活用した再生可能エネルギーや産業廃熱等の複合的地域エネルギー最適化技術分野
- (2) 資源・エネルギー利用を高効率化した環境配慮型生産技術・機器技術分野
- (3) 軽量化素材等の環境配慮型素材の開発及び製造・加工技術分野
- (4) 高齢者等の生活利便性に配慮した省エネ型移動・居住技術分野
- (5) 気候変動に対応した水資源の利活用、食糧生産・貯蔵等の環境技術分野
- (6) 地域が有する産業排水処理・大気汚染対策等のアジア地域への適応化技術分野
- (7) 次世代製品・材料の資源回収、リユース関連技術分野
- (8) 上記(1)～(7)におけるイノベーションの基盤となる材料・デバイス、情報通信等の基盤技術分野
- (9) 上記(1)～(7)における新技術の普及のためのビジネスモデル・社会システムの構築(低炭素化技術  
拠点研究開発事業を除く)

平成 25 年度

## 低炭素化技術探索検証事業 採択テーマ 2 件

NO	テーマ名	申請企業	研究開発概要
1	PVリサイクル輸送容器開発	山九株式会社	PVリサイクルでのパネル他の装置回収では、PVシステムを回収するロジスティックスの検討が最も重要である。その中でも輸送容器に占める割合が高い。このため輸送容器の設計・製作・試験を施し実用化に向けて検証する。
2	低環境負荷型太陽光モジュール洗浄剤を用いたパネルメンテナンスに関する調査研究	シャボン玉石けん株式会社	太陽光発電は、日常的な汚れにより発電効率の低下や火災に至るため、定期的な洗浄などのメンテナンスが、重要であることはあまり知られていない。そこで、安全で効率的な太陽光発電を提供するため、メンテナンス事業の市場性を調査研究する。

平成 25 年度

## 低炭素化技術研究開発事業 採択テーマ 5 件

NO	テーマ名	申請企業	研究開発概要
1	新規 CMP パッド＋スラリーによる高研磨効率の実現と実用化	三島光産株式会社	半導体基板のSiCやLED基板のサファイアは硬く平坦化研磨に長時間を要し、研磨資材を大量消費する。スラリーにフラーレンを混合し、パッド表面形状のマイクロパターンを最適化し、研磨時間、資材の大幅削減により低炭素化を図る（目標 1/10）
2	様々な事業場から排出された有機性の産業廃棄物を活用したカーボンニュートラルなバイオガス発電による売電事業化	株式会社サニックス	様々な事業場から排出された性状の異なる有機性の産業廃棄物から大量のメタンガスを安定的に取り出す為、メタン発酵処理を連続的かつ効率的に進めることができる処理条件を定め、再生可能エネルギーの創出拠点となるバイオマス発電事業化を目指す。
3	相反転方式水車による小水力発電と電力利用システムの技術研究開発	株式会社協和コンサルタンツ	本事業では、相反転方式水車といった新技術を用いて既存水車の設置環境、経済的な課題を解決する小水力発電の技術研究開発及び実証を行うとともに、小水力発電によって生み出された電力の利用方法とその仕組みについても技術研究開発及び実証を行う。
4	炭素を生体固定しCO2排出を抑制することを目的とした「昆虫生体機能」と「工業生産技術」を融合した小型プラントによる昆虫タンパク質の効率的な製造システムの開発	株式会社イーズ バイオ技術研究所	家畜排せつ物を利用してイエバエの幼虫を工業的に育成し、効率的に昆虫タンパク質を製造する。本システム開発により炭素、窒素をタンパク質として幼虫体内に生体固定し温室効果ガスの排出を抑制し、家畜排せつ物の完全リサイクル化を実現する。
5	高輝度・高効率かつ低コストな白色LEDの実現のための樹脂材料ならびにその塗布技術の開発検証実験	三菱化学株式会社	白色LEDを印刷で封止出来ると、LED製造のタクト時間が大幅に低減し、既存のディスペンス法に比べてコスト削減になる。印刷に適した樹脂材料とマスクならびに塗布方法を開発し、その印刷性と白色LEDとしての性能を実証検討する。

平成 25 年度

## ミニ実証事業(継続) 採択テーマ 2 件

NO	テーマ名	申請企業	研究開発概要
1	【継続】ヒ素や鉛といった重金属に汚染された水を飲用可能とする新たな水処理技術の活用により、とりわけアジア地域での安定的な水資源の確保を実現するセントラル浄水システムの実証試験	株式会社タカギ	重金属等により汚染された水に対し「造核剤による不純物除去」といった新たな水処理技術を用いることで、RO 膜等といった従来技術に比して、低コストかつ高効率で安定的な水資源の確保を実現する浄水システムの実証研究を行う。
2	【継続】住宅建物への基礎杭を用いた地中熱ヒートポンプシステム導入の実証研究	新日本ホームズ株式会社	住宅建物への地中熱ヒートポンプシステム導入の課題となっている掘削コストを削減するため、基礎杭を地中熱交換器として使用する施工実験を行い施工方法を確立するとともに、ヒートポンプを接続し暖冷房運転試験を行うことで省エネルギー効果を実証する。